



2012（平成24）年12月 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会発行

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町1-124 埼玉県大宮合同庁舎3階

TEL 048-650-0170 FAX 048-650-0171 E-Mail 2004@sainokuni-sasa.or.jp ホームページ <http://sainokuni-sasa.or.jp>

第12回全国障害者スポーツ大会 ぎふ清流大会

輝け はばたけ だれもが主役

第12回全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」は10月13日（土）～15日（月）の3日間、岐阜県内で開催され、埼玉県選手団100名（選手58名、役員42名）が参加しました。

開会式は13日、岐阜メモリアルセンター長良川競技場に皇太子殿下をお迎えして開催され、南から北へ47都道府県20政令市の計67選手団が入場行進をしました。埼玉県選手団は旗手を務めたボウリング競技の星野正彦選手、村山勇治団長（社団法人埼玉県手をつなぐ育成会理事長）を先頭に入場し、代表行進した選手、監督ら55名は、埼玉県旗やコバトンモチーフとした小旗を振りながら元気一杯行進をしました。

13日午後からは競技が開始され、埼玉県選手団は陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスクボウリングの6個人競技に出場。練習の成果を発揮し、金メダル24個、銀メダル23個、銅メダル24個、合計71個のメダルを獲得しました。また、陸上競技で1種目、水泳で4種目の大会新記録を埼玉県の選手が樹立しました。

岐阜県では実施本部員、ボランティアの方々に暖かく迎えていただき、他県の選手や岐阜県の方々との交流も大いに深められた大会となりました。



第12回全国障害者スポーツ大会に参加して

陸上競技 井田 信行 選手

「初めての全国大会に行って、ぼくは緊張してコーチの話の聞けなかったり、言われたことを忘れてしまったりしました。でも、他の人は競技中でもリラックスしてびっくりしました。ソフトボール投げではメダルを取れず悔しかったですが、初日に頑張ってジャベリックスローで3位に入りメダルが取れ、自分の力を出し切れたと思います。試合中に埼玉県のチームのみんなが応援してくれたおかげで頑張れたのでよかったです。」

陸上競技 村岡 桃佳 選手

「今回ぎふ清流大会に参加し、たくさんのことを学ぶことができました。レースの際にはとてもよい緊張感の中走る事ができ、良かったと思います。自分の中で納得のいく走り、記録は出ませんでした。今後の課題なども見えてきたので、生かしていきたいです。たくさんの方々をサポートしていただいた6日間。その方々への感謝の気持ちを忘れず今後も練習に励みたいと思います。この大会に参加することができ、本当に良かったです。」

陸上競技 齊藤 八千代 選手

「ぎふ清流大会では、ボランティアの方々や仲良く過ごし、たくさん話をしたり、私たちのことを応援してくれてうれしく思いました。初日の400mでは、始まるまでとても緊張しましたが、埼玉県の皆さんのおかげで力が湧き良いスタートを切ってレースができました。今まで練習してきたことが、この大会で発揮できて良かったです。これからもさらに記録更新を目指して練習頑張ります。」

陸上競技 柴崎 潤一 選手

「全国障害者スポーツ大会で、私は競技を通していろいろと学んだり、改めて人の優しさや思いやりを感じることができました。ありがとうございました。」

陸上競技 小谷野 莉沙 選手

「ビーンバッグで銀メダルをとりました。とってもうれしかったです。スラロームも銀メダルをとりました。とってもうれしかったです。」

陸上競技 八尾 陽夏 選手

「スポーツ大会はとても楽しく勉強になりました。また、予選とは違う緊張感がたまらなかったです。また出たいと思いました。将来の可能性が大きくなったような気がしました。ありがとうございました。」



陸上競技 浅川 美紀 コーチ

「私は今回、陸上競技(知)のコーチとして初めて参加させていただきました。3日間の熱戦の中、全力で競技をする選手たちの姿を見て、胸が熱くなる思いでした。様々な思いの中出場した第12回全国障害者スポーツ大会は幕を閉じましたが、選手の皆様には、また次の目標に向かって走り出してほしいと思います。また、日頃選手を支えてくださっている保護者の皆様応援ありがとうございました。今回の大会を通して、スポーツに親しむことの素晴らしさを改めて感じていただけたら幸いです。」

陸上競技 武川 真弓 コーチ

「今回は2回目の参加であり、前回よりも少し気持ちに余裕を持って参加できました。毎朝早い中、選手はきちんと自分で調整し、体調不良や怪我もなく過ごせたことは非常に安心してみていられました。大会中は同じ競技をいろんな区分の方がしているのを見ることで動きの特徴や競技特性を確認でき、勉強になりました。次回はコーチングについて勉強してから臨みたいと思います。」

陸上競技 木皿 優 コーチ

「私はこの大会に初めてコーチとして参加させていただきました。今回の大会で最も印象に残っていることは、試合を終えた選手の皆さんが悔しがっていた姿です。」

「自己記録が更新できなかった」「不本意なメダル獲得であった」など理由は様々ですが、悔しがっている姿を何度か見かけることができました。全国障害者スポーツ大会の目的の一つとして「障がいのある方が競技を通してスポーツの楽しさを体験する」ということが挙げられていることから、私はもっと楽しく競技を行うことができるような大会を想像していましたが、実際はそうではなくて全力で競技に取り組む選手のまなざしは健常者の全国大会となんら変わりありませんでした。また、そういった姿に幾度となく感動させられました。障害者のスポーツは軽視されがちですが、そういった選手たちの真剣な頑張りを多くの方に見てほしいと感じます。また、そのような感動を生み出す選手たちを支えた「埼玉県選手団」というチームの中でお仕事ができたことを本当に嬉しく思います。選手の皆さんには、この大会をきっかけとして、是非とも競技を続けてほしいと思います。そしてまた共に競技できる日が来ることを楽しみにしています。」

陸上競技 岩切 三千代 コーチ

「陸上のコーチとして2回目の参加をさせていただきました。前は慣れないことの連続で、あっという間に過ぎ去ってしまいました。今回も時間に追われる日々でしたが、その中でも、選手の一生懸命な姿や笑顔悔しさが感じ取れてとても感動し、楽しめました。また、全国のレベル、技術を見れて私自身の勉強になりました。介助者としてピットに入ると、応援の声がたくさん聞こえて、団結力を感じてますます陸上競技を頑張る盛りに上げていきたいと思いました。また、今回の反省を活かしていきたいとも思います。とても貴重な体験をありがとうございました。」



水泳 辻本 大輔 選手
 「監督、コーチの指導やボランティアの方々の支援で、水泳チームが団結し、好成績を収めることができました。ありがとうございました。」

卓球 田邊 百合 選手
 「初めて参加して、本当は2試合だったけど、1試合になってしまってすごく残念でした。でも、金メダルを取ることが出来て、とても嬉しかったです。できれば、また参加したいです。」

ボウリング 星野 正彦 選手
 「県選手団の旗手として開会式の入場行進ができて、少し緊張したけれど楽しかったです。ボウリングでも応援に来てくれた父の前で金メダルがもらえてとても嬉しく、感動しました。」

ボウリング 須田 奈津子 コーチ
 「ボウリングのコーチとして初めての参加でした。選手の中にも4人中2人が初出場でしたが、ベテラン選手の落ち着いた雰囲気、埼玉県選手団のサポートをいただいた岐阜県職員、ボランティアのみなさんの励ましのおかげで、結果はともあれひとりひとりが良い経験ができたように思います。ボウリング競技では1人は金メダルを、1人は銀メダルを獲得しました。メダル獲得は本人の努力はもとより、チームメイト、家族、応援してくれているすべての人の気持ちがひとつになったからだと思います。試合終了後「次は東京だ」「明日からがんばる!」とすぐに前向きな言葉を発した選手たち。この気持ちを大切に、1日1日を過ごしてほしいと願っています。長いようであつという間の6日間。たくさんの感動と、かけがえのない時間をありがとうございました。選手団を支えてくださったすべての方々にこの場をお借りし感謝申し上げます。ありがとうございました。」

《成績優秀者一覧》

競技	種目	名前	記録	順位	備考	競技	種目	名前	記録	順位	備考	
陸上競技	50m	金子 修	9秒46	1		陸上競技	ピーンバッグ投	小谷野莉沙	7m73cm	2		
		村岡 桃佳	21秒00	2				4×100mリレー	加賀美美優	49秒76	2	
	100m	江藤 慎二	13秒77	1			稲玉 大介					
		八尾 陽夏	16秒03	2			小林 慶哉					
		加賀美美優	14秒43	1			吉川 真宏					
		稲玉 大介	12秒11	1			25m自由形	辻本 大輔	13秒83	1	大会新記録	
		小池 洋子	14秒55	3				高梨恵美子	15秒83	1	大会新記録	
		吉川 真宏	12秒45	2			後藤 聡	14秒17	2			
	200m	村岡 桃佳	38秒07	1			前田健太郎	14秒49	3			
		加賀美美優	30秒72	2			50m自由形	辻本 大輔	29秒64	1		
		稲玉 大介	24秒70	1				木村 梓	46秒66	2		
		小池 洋子	30秒98	2			森泉 亜美	37秒38	2			
	400m	吉川 真宏	24秒91	1			竹本 涼輔	31秒83	3			
		齊藤八千代	1分07秒97	1	大会新記録		50m背泳ぎ	木村 梓	56秒68	1		
	800m	佐藤 健	2分22秒93	3			25m平泳ぎ	高梨恵美子	22秒34	1	大会新記録	
		深瀬 広	2分14秒46	3			前田健太郎	21秒75	3			
		齊藤八千代	2分39秒69	2			25mバタフライ	後藤 聡	15秒82	3		
		小林 慶哉	2分04秒62	1				50mバタフライ	森泉 亜美	45秒76	3	
	1500m	菅原 泉	2分37秒74	1			アーチェリー	RC50m・30mWラウンド	加藤 宏次	604点	2	
		佐藤 健	4分40秒98	3			卓球	一般卓球	宮田 一彦	2点	2	
深瀬 広		4分43秒08	3		平川 洋三	3点			2			
上條 裕貴		4分33秒94	3		小松 慎吾	2点			3			
小林 慶哉		4分16秒11	1		樋口 一優	3点			2			
菅原 泉		5分34秒02	2		海老澤京子	4点			1			
土肥 樹弥		4分31秒62	3		田邊 百合	4点			1			
スラローム		小谷野莉沙	53秒4	2		横手 勤			4点	1		
立幅跳	金子 修	2m03cm	3		吉田 絹子	4点			3			
走幅跳	江藤 慎二	4m52cm	2		フライイング ディスク	ディスタンス立位女子	北田八千代	27m17cm	2			
	上銘 健太	3m34cm	3				中見 有佳	37m85cm	3			
砲丸投	三浦一二三	6m91cm	3			ディスタンス立位男子	田邊 孝二	39m63cm	1			
	三浦一二三	16m68cm	1			岸野 達哉	55m59cm	1				
	柴崎 潤一	20m77cm	2			杉浦 泰伸	40m76cm	3				
	安野 聖也	46m64cm	2			岩崎 桂祐	37m30cm	3				
ジャベリックスロー	井田 信行	32m54cm	3			ディスタンス座位女子	竹内美沙紀	26m01cm	1			
	柴崎 潤一	35m65cm	2			アキュラシーディスク5	岩崎 桂祐	9投	3			
	三橋 佑司	42m52cm	3			ボウリング	中原由貴江	530点	2			
	安野 聖也	79m66cm	3				星野 正彦	571点	1			

全国大会出場を目指して・・・がんばろう！埼玉県児！！

《フットベースボール大会》

平成24年度彩の国ふれあいピックフットベースボール大会（第25回県民総合体育大会兼第11回埼玉県障害者スポーツ大会）を11月4日（日）熊谷荒川緑地において開催しました。

チャンピオンシップの部4チーム、フレンドシップの部9チームが出場しチャンピオンシップの部は埼玉ボンダガールズ、フレンドシップの部は埼玉スポーツクラブAが優勝しました。

今大会で選考された選手で結成される埼玉県チームは来年10月に開催される「第13回全国障害者スポーツ大会スポーツ祭東京2013」の予選会である関東ブロック地区予選会に出場し、全国大会出場を目指します。



大会結果

チャンピオンシップの部

優勝 埼玉ボンダガールズ
準優勝 彩の国レッドキング甲
第3位 ゴッドオブバーミリオンズ

フレンドシップの部

優勝 埼玉スポーツクラブA
準優勝 ゆきちゃんず
第3位 彩の国レッドキング乙

《バレーボール大会（精神障害の部）》

平成24年度彩の国ふれあいピックバレーボール大会精神障害の部（第25回県民総合体育大会兼第11回埼玉県障害者スポーツ大会）中央大会を、11月23日（金・祝）埼玉県立武道館主道場において開催しました。

この大会は、県内を2つのブロック（北西ブロック、東南ブロック）に分け、各ブロックの上位4チーム、計8チームが参加して行われました。

決勝戦はジャンクション埼玉対パワーズ埼玉。接戦を制し、ジャンクション埼玉が2年連続優勝を果たしました。

今大会で選考された選手で結成される埼玉県チームは来年10月に開催される「第13回全国障害者スポーツ大会スポーツ祭東京2013」の予選会である関東ブロック地区予選会に出場し、全国大会出場を目指します。



大会結果

優勝 ジャンクション埼玉
準優勝 パワーズ埼玉
第3位 シリウス、シューティングスターズ

《バレーボール大会（知的障害の部）》

平成24年度彩の国ふれあいピックバレーボール大会知的障害の部（第25回県民総合体育大会兼第11回埼玉県障害者スポーツ大会）を11月25日（日）埼玉県立武道館主道場において開催しました。

大会には男子の部3チーム、女子の部2チームが参加し、熱戦の末、男子の部はさいたま桜、女子の部はドリームKARAが優勝しました。

今大会で選考された選手で結成される埼玉県チームは、来年10月に開催される「第13回全国障害者スポーツ大会スポーツ祭東京2013」の予選会である関東ブロック地区予選会に出場し、全国大会出場を目指します。



大会結果

男子の部

優勝 さいたま桜
準優勝 埼玉ドリーム男子A
第3位 埼玉ドリーム男子B

女子の部

優勝 ドリームKARA
準優勝 ドリームAKB

平成24年度埼玉県ふれあい地域振興事業

《ふれあいフットサル大会》

平成24年度埼玉県ふれあい地域振興事業「ふれあいフットサル大会」を11月3日（土）レッズランドにおいて開催しました。大会には中学生以上の部（障害あり）12チーム、小学生の部（障害なし）8チーム、一般交流の部（障害あり）7チーム・（障害なし）5チーム、ふれあいMIXの部（混合）4チーム、計36チームが参加。一般交流の部では初めて障害者のチームと健常者のチームが対戦する形式を取り入れ、浦和レッズハートフルクラブも特別参加しました。ピッチでは各カテゴリーとも白熱した試合が繰り広げられました。試合後に行う表彰では控チームが優秀選手を選ぶ方法を取り入れ、ユニークな優秀選手賞が続出。楽しい雰囲気の中、受賞者には賞状並びに記念品が贈られました。

大会後には、浦和レッズハートフルクラブによるサッカー教室を行い、参加者全員でサッカーをとおして交流をはかりました。



《ふれあい野球教室》

平成24年度埼玉県ふれあい地域振興事業「ふれあい野球教室」を11月24日（土）埼玉県営大宮公園野球場で、埼玉県高等学校野球連盟のご協力をいただき、昨年度の第1回教室に引き続き講師として浦和学院高等学校野球部をお招きして開催しました。

教室は「ふれあい」「投げる」「守る」「打つ」「ふれあい」の5部構成で行いました。「投げる」では投手の練習をブルペンでおこない、初めて足を踏み入れるブルペンに参加者からは感嘆の声があがりました。最後の「ふれあい」では、浦和学院高等学校野球部の試合前7分ノックなどのデモンストレーション、参加者から野球部への質問コーナーなどで交流を深めました。



さいたま市サッカー教室

元Jリーガーに挑戦

さいたま市サッカー教室を11月4日（日）、さいたま市堀崎公園サッカー場で開催しました。講師は大宮アルディージャU-12の荒谷弘樹コーチ、森田浩史コーチ、石亀晃コーチ。

教室はじゃんけんやボールを使ってウォーミングアップの後、遊びを取り入れたドリブル練習、シュート練習、ミニゲームが行われました。参加者チーム対コーチチームの試合も行われ、元プロ選手に負けずとボールを追いかけていました。教室の初めは硬い表情の参加者も時間が経つにつれコーチや他の参加者との距離も近まり、笑顔あふれるサッカー教室となりました。最後にコーチ陣から参加者全員にアルディージャ下敷きのプレゼントがあり、教室を終了しました。



世界にはばたけ！彩の国選手育成強化合宿（第5回）

世界への大きな一歩！

世界にはばたけ！彩の国選手育成強化事業の第5回強化合宿を11月10日～11日、生命の森リゾート日本エアロビクスセンターにおいて実施し、選手39名、スタッフ23名が参加しました。

陸上競技ではロンドンオリンピック日本代表の山縣亮太氏、アーチェリーは元パラリンピックの原口章氏を特別講師として招き、ご指導をいただきました。合宿2日目に参加いただいた山縣氏から練習のあと芝生の上に選手・コーチが車座となり「挫折の繰り返しをいかに克服したか」「オリンピックでのプレッシャーをいかにしてはね返したか」等についてお話をいただきました。また、トップアスリートからの「スポーツを楽しく」というメッセージが印象的でした。原口氏からはアーチェリーメンバーに対し、練習で撮影したビデオを参考にパラリンピックでの経験をふまえ長時間ミーティングが行われました。講習会では、ロンドンパラリンピック陸上競技日本代表の高桑早生さんに「ロンドンパラリンピック私が見た世界の舞台」をテーマに代表内定からパラリンピック出場までを初出場のいまだからこそ感じる心境や目標設定→実行→達成感のプロセス、今の自分が世界のどの位置にいるか知ることの大切さなどについて、体験談を交えてお話をいただきました。

本合宿も5回目を迎え、選手の意識も高まり密度の濃い充実した合宿となりました。



第2回世界ろう者陸上競技選手権大会 報告

平成24年7月14日～23日にカナダで開催された第2回世界ろう者陸上競技選手権大会に、埼玉県出身の門脇翠選手が参加しました。この大会は、聴覚障害者を対象とした世界大会で、デフリンピックと並び、世界最高峰の大会です。門脇選手から大会に参加した感想をいただきました。

「結果は、100mは予選敗退、リレーでは2走を務め、日本ろう新記録で4位入賞でした。前日までの調整練習では調子が良かったものの、100m本番では記録があまり良くなって不本意な結果に終わってしまったことは残念でした。でも、ワクワクドキドキした良い緊張感を持って臨むことができ、楽しむことができました。その時の走った感触は残念ながらあまり覚えてないので、また世界で走りたいと思いました。その一方で大会で走る一本にベストな状態を持つことの難しさも痛感しました。これからは自分の身体とちゃんと向き合っ、これまでの練習法の見直しや工夫をしてまた世界を目指したいと思います。最後に、私は大学生になった当初は、陸上競技は続けるつもりはありませんでしたが、世界選手権を通して、素晴らしい仲間に出逢い、今後また競技を続ける強い弾みとなりました。今は競技を続けて良かったと思っています。現在、聴覚障害者のアスリートはそう多くありません。私たちが活躍することで選手を目指す人が増えると良いです。また、デフリンピックやろう者世界選手権、アジア選手権の存在を健常者を含め多くの人に知ってもらいたいです。」



右から2番目が門脇選手

障害者のスポーツをご支援くださる賛助会員をご紹介します



感動のそばに、いつも。

株式会社JTB関東
法人営業埼玉支店

JTB関東は1988年4月に設立し、現在本社をさいたま新都心に置き、約900名の社員で構成されております。

「自由で豊かな発想と旅の力を源泉に、世界を舞台とした様々な交流を創造し、地域社会と人々に素晴らしい感動と笑顔を提供し続ける。」を経営理念に掲げ、様々な事業に取り組んでおります。

障がい者雇用への取り組み

JTBグループでは障害者雇用促進法施行後、雇用率1.8%（平成25年4月以降は2.0%）に則り、グループ会社であるJTBデータサービスを中心に、「すべての人が共に活躍できるノーマライゼーション」を目指し積極的に雇用を進めております。

グループとしては239名の障がいを持った社員が活躍しておりますが、JTB関東でも約10名が駐在勤務しております。業務としては本社経理、財務のデータ入力を中心ですが、その他にも、アンケート入力・集計・分析・統計資料・グラフ作成や旅行の予約手配でも活躍しております。

JTBグループとしては今年創立100周年を迎えました。

これからも皆様から信頼いただける企業グループを目指し、独創的で質の高い価値創造を通じて、皆様の感動と喜びのお手伝いに務め平和で心豊かな社会の実現に貢献してまいります。



《お問い合わせ》

(株)JTB関東 法人営業埼玉支店
埼玉県さいたま市大宮区2-75フコク生命ビル7階
TEL 048-644-5690 / FAX 048-644-5698
HP <http://www.jtb.co.jp/shop/danryosaitama/>



株式会社昭和工業

当社は、昭和45年創業より埼玉県内、さいたま市内にて下水道、河川、道路、公園、区画整理、土地造成、防災環境保全等の分野で建設業（土木工事）を営んでおります。

地域社会の一員として『人と自然との調和』に配慮した街づくり、水・土・緑など資源の保全・活性化につながる工事のあり方を模索しています。

一例として、埼玉県が取り組むみどり川との再生関連の工事にも参加させていただいております。

また、近年ではものづくり、ひとづくりに関連した周辺事業の拡充に取り組んでおりまして、人と環境に安全無害な新除草・抑草システムの施工、求職者支援制度の職業訓練の実施、外国人留学生の採用なども手掛けています。

今後は、障がいを持つ方々へ配慮した街づくりを通じて、社会福祉、地域社会に貢献してまいります。

「スポーツに取り組むみなさんへ」

当社では、埼玉県障害者スポーツ協会様が主催されている「ふれあいサッカー教室」の講師を務めておいての地元女子サッカースクールを応援させていただいております。スポーツに取り組むみなさんもスポーツを楽しみながらスポーツを通じた仲間づくりにがんばってください。

また、障がい者の自立と社会参加を支援される埼玉県障害者スポーツ協会様の今後の発展をお祈り申し上げます。

【お問い合わせ】

株式会社 昭和工業

埼玉県さいたま市南区曲本 1 - 10 - 25

TEL. 048-863-8452

URL. <http://www.showakogyo.co.jp>